



季節の移り変わりは早いですね。アツと言う間に白いモノが空から降ってきました。身体の順応性が低くなっているのか寒さが堪えられない時期です。先達で旭川支部長、橋井一実(63)殿の通夜・葬儀に参列して参りました。道本部としても知患者であり、本部長の両翼の一翼を担っていた故人の存在は計り知れない損失と感じております。故人は、函館支部が本部から脱退し独立した組織を目指す揺れていた時に、組織としての在り方。北海道としての函館支部でなく、日本の組織の中で意見を言える北海道本部であり函館支部でなければ協会自体の弱体化に繋がり、それらを生活の糧としている従業員の家族の事も考えて地場産業としてのポジティブの充実を図る必要がある。その為には函館から北海道を北海道から日本の砕石業に対して協力し合って行かなくてはならない。と言われたことが思いだされました。組織の在り方よりも組織に従事している者の家族を根底に於いた企業方針と企業間協調の心得えを学ばせて頂き、遺影をながめながら改めて当時のことを思い出しました。心より御冥福をお祈り致します。そんな哀しみにくれているのなら、いつの間にか、政界では内容がよく解らない衆議院解散の風が吹きました。18ヶ月後の消費税引き上げを断言して、その延期した是非を600億円の選挙費用をかけて国民に問う。アーもつたいない。600億円見たことないですが感覚で貧乏人は感じます。次年度の予算編成を真剣に検討しなくてはならないこの時期でなくてもいいのにね。

◇北海道砕石協同組合連合会・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部の動向

- ①労働災害の発生。9月15日に発生した砕石場内の整備中の土砂崩落による埋没死亡事故から今年11月1日に岩手県で崩落した岩石の下敷き死亡災害が発生しております。平成26年に入り7件目になります。**注意**
- ②軽油引取税に関しては、不透明ですが良い方向性の話には成っていないようです。もしこれがダメであれば大幅な生産コストの上昇が考えられる事は必至です。東京本部の弱体化を指摘する声も再燃焼するでしょう。
- ③旭川地区砕石協同組合支部長逝去(享年64歳)…後任は未定であります。
- ④12月9日第三回連合会・地方本部の理事会が東京ドームホテル札幌で開催されます。

◇道南地区砕石協同組合・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

- ①11月21日午後3時から理事会を開催(午後3時から砕石協会事務所にて)…議案3件
議案①渡島・檜山パトロールの結果について、議案②(有)北栄脱退届けの承認、議案③その他でした。
議案③のその他については、下記②と③について協議致しました。
懇親会は、午後6時から本町18-18 YKビル2階『割烹あべ』で開催。席上、太平洋セメント大平氏の栄転の報告もあり本人から転勤の挨拶がありました。
- ②11月5日、函館骨販の同行で経済調査会・物価調査会に行き参りました。ご存じの様に経済物価調査会の積算骨材価格が10月1日から改定されました。しかし、前回検討調査に入られた段階では、今後の諸経費が含まれていないこと、更に運搬コストの値上げがゾーン単価の生産コストを圧迫している事などを協議して参りました。今後の方向性として当会と函館骨販も同時期に新聞広告等で今後、掲載していく手法をとる予定で考えていますが、経済調査会・物価調査会に於いては、今後の調査に入っても現況は変わらないが、来期4月の段階で電気料金の値上げは確実で有るし、軽油引取税の動向を踏まえて活動して行くので、4月1日の積算骨材価格の改定は、現況を理解し、今後のコスト増加を踏まえた中で検討されたい旨を意見として協議して参りました。今後の活動内容等は、調整しながら理事会にて図って参りたいと思います。
- ③上記でも述べましたが、平成26年の死亡災害発生状況数は、平成18年と21年に並んでしまいました。まだ一ヶ月を残しての発生現況は、協会全体で考えて行かなくては成らない事案であります。道南はこれから冬期間には入り、通常の作業より危険度のリスクが上がります。各社、採掘面の崩落やプラント内の安全性などを十分に考慮して無事故無災害で新年を迎えられるようにしましょう。

協会に対してのご意見、ご要望がありましたら、いつでもご連絡下さい。
吉田が、親身になって迅速に対応して参ります。

『さいせき・函館』… 20141100号